

産業技術大学院大学 次期学長予定者の決定について

1 次期学長予定者

石島 辰太郎 (いしじま しんたろう) (62歳)
(現 産業技術大学院大学 学長)

2 選考理由

- 氏は、産業振興に資する高度専門技術者育成の重要性を強く認識しており、初代学長として、社会人リカレント教育を中核に据えた新たな体系的教育システムを構築し、産業技術分野の専門職大学院として本学の先駆性、独自性を明確に打ち出すなど、その見識と組織運営能力は高く評価されるものであること
- 氏は、人格が高潔であることはもとより、産業界の動向や社会環境の変化を的確に捉え機敏かつ柔軟に対応する経営感覚を備えており、本学の将来像とその実現に向けた戦略を学内外に明示するなど、卓越した先見性と強力なリーダーシップにより本学の運営を牽引する十分な実力を有していること
- 氏は、専門分野である計測自動制御に関する優れた研究業績のみならず、日本におけるe-ラーニング普及・開発のリーダーとして活躍するなど、教育活動の分野に関しても深い造詣を有しているほか、様々な公職に幅広く携わる中で、産業界や国・地方自治体との間に強固な連携関係を構築しており、専門職大学院の特色を最大限活かした社会貢献活動を推進していく上においても広い視野と秀でた業績を有していること
- 氏のこうした資質と業績は、本学の更なる発展に大いに寄与するものであること

3 就任日・任期 (予定)

平成22年4月1日 (任期4年：平成26年3月31日まで)

4 任命

公立大学法人首都大学東京定款第12条により、産業技術大学院大学学長選考会議 (以下「学長選考会議」という。)の選考に基づき、理事長が任命する。

5 選考経過

- (1) 第1回学長選考会議を開催し、議長を選出した後、「産業技術大学院大学学長選考会議運営内規 (案)」及び「産業技術大学院大学学長の任期に関する規則の内容 (案)」について審議・決定。次期学長に求められる資質等の検討を行うとともに、候補者として考えられる人物について、資質、適性 etc.を見極めるため、学長選考会議に招聘し、大学運営に関する考え方等を聴取することを決定 (平成22年1月12日)
- (2) 第2回学長選考会議を開催し、選考会議の議長が石島現学長を招聘。大学運営に関する考え方等を聴取した後に、議長が聴取内容を踏まえ、石島現学長を次期学長候補者に推薦。審議の結果、石島現学長を次期学長予定者に選考することを決定。加えて、公表方法について審議・決定 (平成22年1月22日)

【問い合わせ先】

公立大学法人首都大学東京

経営企画室広報・特命担当

総務部総務課

産業技術大学院大学管理部管理課

連絡先 (直通 03-5320-7080)

産業技術大学院大学 次期学長予定者略歴

石島 辰太郎 (いしじま しんたろう)

現 産業技術大学院大学 学長



○生年月日 昭和22年10月3日生

○年 齢 62歳

○学 歴

昭和46年 3月 早稲田大学工学部電気工学科卒業

昭和51年 3月 早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了 工学博士

○職 歴

昭和51年 4月 東京都立工科短期大学電気電子工学科助手

昭和55年 4月 東京都立工科短期大学電気電子工学科助教授

昭和59年 7月 西ドイツ、シュトゥットガルト大学客員教授

昭和60年 4月 東京都立工科短期大学電気電子工学科教授

昭和61年 4月 東京都立科学技術大学電子システム工学科教授

平成14年 4月 東京都立科学技術大学 学長

平成17年 4月 首都大学東京システムデザイン学部長

平成18年 4月 産業技術大学院大学 学長(～現在)

○学会及び社会における主な活動

昭和51年 4月 計測自動制御学会会員(～現在)

昭和54年 4月 電気学会会員(～現在)

平成 元年 3月 (財)都市防犯研究センター評議員(～現在)

平成 7年 1月 計測自動制御学会常務理事

平成 9年 1月 計測自動制御学会評議員

平成12年 4月 (財)国際研修交流協会評議員(現在、理事)

平成12年 4月 (財)店舗システム協会理事

平成14年10月 東京都ベンチャー技術大賞審査委員長(～現在)

平成15年 4月 (財)衛星通信教育振興協会評議員(～現在)

平成15年 8月 (財)簡易保険加入者協会評議員(～現在)

平成15年10月 NPO法人日本e-Learning学会会長(～現在)

平成20年 8月 計測自動制御学会 フェロー(～現在)

平成21年 3月 NHK経営委員会委員(～現在)

○受賞歴

平成 8年 計測自動制御学会・論文賞(武田賞) 受賞

平成15年 システム制御情報学会・学会賞論文賞 受賞